



アーバンクール (保水型)

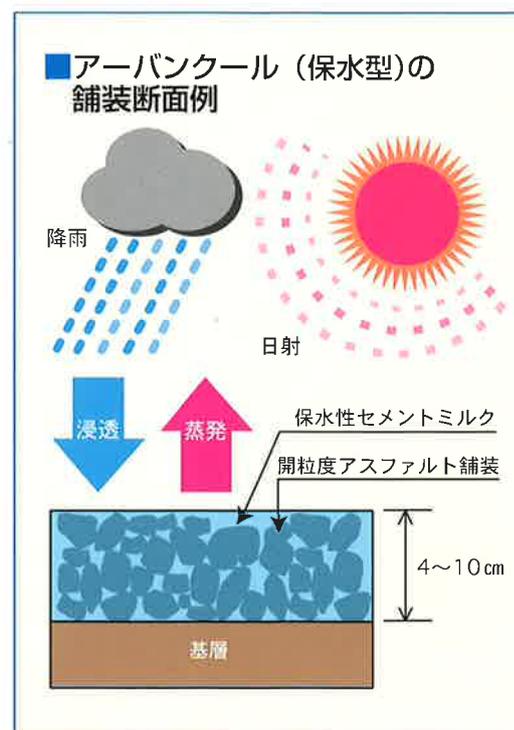
U R B A N C O O L



アーバンクール(保水型)は、開粒度アスファルト混合物に保水性セメントミルクを充填し、保水性能を高めた半たわみ系の特殊舗装技術です。土系の地表面は、太陽光線に含まれる熱エネルギーの一部を水の蒸発(気化潜熱)によって消費させることができますが、舗装された路面は、太陽光線の熱エネルギーをすべて吸収して蓄熱してしまいます。これが都市部のヒートアイランド現象の大きな要因になっています。アーバンクール(保水型)は、このヒートアイランド現象を緩和・抑制し、人と地球に優しい都市環境づくりに貢献しています。

特長

- 水の気化潜熱によって路面温度の上昇を抑制します。
太陽光線に含まれる熱エネルギーの一部を水分の蒸発(気化潜熱)によって消費させ、路面に吸収される熱エネルギー量を低減します。
- 5℃～15℃の路面温度低減効果があります。
通常のアスファルト舗装(密粒度アスファルト舗装)と比較して5℃～15℃の路面温度低減効果を発揮します。
- あらゆる路面に適用が可能です。
一般的な舗装対象となる車道や歩道をはじめ、駐車場、広場、園路等のあらゆる路面に適用が可能です。
- 重交通道路にも適用できます。
交通量区分N7舗装計画交通量3,000(台/日・方向)以上[従来のD交通道路]の重交通道路にも適用が可能です。
- 即日道路の使用が可能です。
超速硬タイプの保水性セメントミルクを使用しているため、充填後約3時間という短い養生時間で完成させることができ、即日道路使用が可能です。



アーバンクール（保水型）

施工手順

1.母体混合物舗設



開粒度アスファルト混合物を舗設します。

2.保水性セメントミルクの製造



現地で混合機を使って保水性セメントミルクを製造します。

3.敷き均し



保水性セメントミルクを均一に敷き均します。

4.浸透作業と整形



保水性セメントミルクを浸透させながら整形を行います。

5.完成



短時間の養生で完成するため、即日使用することができます。

保水性セメントミルクの充填



充填前の表面

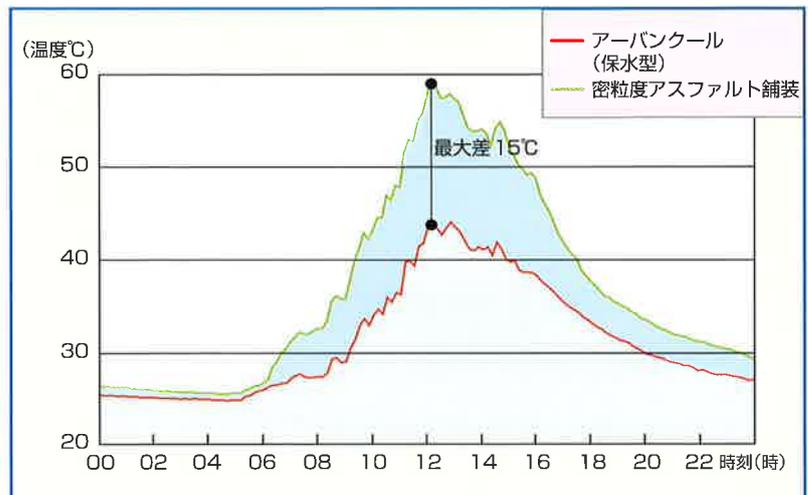


充填後の表面

路面温度測定例

アーバンクール(保水型)の路面温度低減効果を測定した事例を右図に示します。

密粒度アスファルト舗装が60℃の路面温度に対して、本工法は、降雨1日後で15℃の路面温度低減効果がありました。



世紀東急工業株式会社

本社技術部 東京都港区芝公園2-9-3 〒105-8509
E-mail:tec@seikitokyu.co.jp

技術研究所 栃木県栃木市岩舟町静和2081-2 〒329-4304
TEL.0282(55)2711 FAX.0282(54)1036
E-mail:labo@seikitokyu.co.jp

ホームページアドレス：<http://www.seikitokyu.co.jp>